

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について

1 趣旨

本市の市内公共交通については、令和4年度から、国の補助メニューである地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用しているが、標題補助金交付要領では、補助対象事業のより効果的、効率的な推進に資するため、「毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価を行い、結果を1月下旬までに協議会から地方運輸局に報告・公表することとする」と定められていることから、対象路線の実績について自己評価を行うもの。

2 評価の対象

(1) 路線

広田線、広田半島線、長部今泉線、たかたコミュニティバス西部線、デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア、同気仙エリア、同小友・広田エリア、生出線 計8路線

(2) 期間

令和4年10月～令和5年9月。ただし、生出線は令和5年4～9月。

3 評価のポイント

対象路線	運行事業者	目標値※1	実績値	達成率	判定※2	備考
広田線	碁石観光 (株)	4.0人/回	3.9人/回	97.5%	B	全日系統は国 庫補助対象
広田半島線		4.0人/回	1.6人/回	40%	C	全日系統は国 庫補助対象
長部今泉線	(株)気仙タ クシー、高 田タクシー (有)	2.0人/回	1.8人/回	90%	C	補助対象外
たかたコミュニ ティバス西部線		2.0人/回	0.6人/回	30%	C	補助対象外
デマンド交通中 平・坂下・小黒山 エリア		2.0人/便	1.1人/便	55%	C	補助対象外
デマンド交通気仙 エリア		2.0人/便	1.6人/便	80%	C	補助対象外
デマンド交通小 友・広田エリア	(有)高田交 通	2.5人/便	1.9人/便	76%	C	国庫補助対象

生出線 (R5. 4～9)	(有) 奥州交通	4.5 人/回	5.1 人/回	113%	A	国庫補助対象
---------------	----------	---------	---------	------	---	--------

※1：目標値は、令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請時に定めた数値。
定期運行は1往復＝1回とする。

※2：判定は、A判定が達成率100%以上、B判定が100%未満80%以上、C判定が80%未満または補助対象外。

4 今後の改善点

(1) 共通事項

- ・ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努める。
- ・デマンド交通とふるさとタクシー助成とのすみ分けについて検討する。

(2) 特記事項

ア 広田線、広田半島線

陸前高田市地域公共交通計画に基づき、経路の見直しやフリー乗降区間の拡大などを進めて利便性向上を図る。

イ 長部今泉線、デマンド交通気仙エリア

気仙町内において両路線を一体的にPRする。

ウ たかたコミュニティバス西部線

経路の重なる路線との統廃合や整理、便数の調整を検討するとともに、路線延長の要望に対応することで利用者増につなげる。

エ デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア

矢作町字中平・坂下・小黒山（矢作町第15区及び16区）に絞ってデマンド交通のPRを実施し、利用の拡大を図る。

オ デマンド交通小友・広田エリア

小友町・広田町内に絞ってデマンド交通のPRを実施するとともに、出前講座などを通じて利用喚起に努める。

カ 生出線

現在の運行を引き続き継続する。

5 東北運輸局に報告する内容

別添1及び別添2のとおり